

2015年12月

—乳業界で初— 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」にて 最高ランクを取得しました

森永乳業株式会社（社長：宮原 道夫、本社：東京都港区）は、このたび株式会社日本政策投資銀行（社長：柳 正憲、本社：東京都千代田区、以下「DBJ」という）が行う「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」にて最高ランクの格付を取得しましたのでお知らせいたします。

「DBJ健康格付」は、DBJが独自の評価システムにより、企業の健康経営への取り組み、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、経営理念である「乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する」を実現すべく、また、社員が生き生きと働く企業風土とするため、まずは社員自らが健康であることを目指し、社内体制の整備・取り組みの推進に着手しています。

今回の格付では、以下の点を評価いただきました。

- （1）健康経営に係る基本方針として経営トップ自ら「森永乳業健康宣言」を打ち出し、当社、健保組合などで組織される「健康推進委員会」のもと、PDCA サイクルを通じて、中長期目標「健康モリナガ21」およびデータヘルス計画（※）の達成に向けた取り組みを行っている点
- （2）健康課題把握にあたって、多様な観点からの医療費分析のみならず、同業他社との協議なども通じた、多角的な分析を実施している点
- （3）課題解決のための具体的施策として、生活習慣改善キャンペーンの推進や定期的実施する目標管理面談において労働時間管理やメンタルヘルスへの配慮を行うなど、独自の施策を数多く導入していることに加え、積立年次休暇を活用した多様な育児支援制度などにより従業員のワークライフバランスを意識している点

※レセプト等のデータの分析、それに基づく健康保険組合加入者の健康保持増進のための事業計画

当社は2017年に100周年を迎えます。社員が健康に生き生きと働き、常に挑戦し、発展し続ける企業を目指すとともに、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献してまいります。

以上